国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 特別展のお知らせ

日ごろよりお世話になりありがとうございます。

湯浅八郎記念館では、4月14日より、以下のとおり展覧会を開催いたします。 ご案内にお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

特別展「よみがえる宮古島の祭祀 写真家、上井幸子と比嘉康雄が写した記憶」 Memories of Ritual Prayer on Miyako Island:

The Photographs of Uwai Sachiko and Higa Yasuo

琉球弧といわれる日本列島西南端の島々では、数百年にもわたって、国内ではほかに類を見ない独自の祭祀が連綿と受け継がれてきました。その多くは女性が神職を務め、中には部外者はもちろん、集落内でも目にすることを禁じた秘められた儀礼もあります。

二人の写真家、上井幸子 (1934-2011) と比嘉康雄 (1938-2000) はともに、1970 年代から島々に足繁く通い、戦後沖縄の激動の時代にあって人々が辛うじて守り伝えてきた秘儀の詳細をカメラに収めました。とりわけ宮古島は、ウヤガン (祖神祭) など琉球弧でもっとも古い姿をとどめる祭祀の伝承地で、二人が撮影した写真には、島独特の精神文化が克明に写し出されています。現在、その祭祀の多くは変容し簡素化され、あるいは後継者が途絶えて姿を消してしまったものもあります。

本展は、2018年から沖縄県内各地で上井幸子と比嘉康雄の二人展を主催してきた有志団体「まぶいぐみ」(國吉和夫、小橋川共男、比嘉豊光、花城太、秋友一司、普久原朝日らを中心メンバーとする)の全面的な協力を得て、国際基督教大学で教鞭を執る藤田ラウンド幸世客員准教授が湯浅八郎記念館と共同で企画・開催するものです。上井と比嘉の作品を並べて紹介する展示は、沖縄県外では初めてとなります。二人の写真家がそれぞれの視点で捉えた貴重な記録が、揺らぎ失われつつある共同体の精神の原点を見出す大きな手がかりとなることを期待いたします。

●上井幸子(うわい さちこ 1934-2011)

静岡県生まれ。アマチュアとして写真を始め、福井県のダムに沈む村を記録し日本写真協会新人賞を受賞。沖縄が日本へ復帰する1972年から沖縄本島や宮古島を訪ね、人々の日常に親密に溶け込みながらその暮らしを細やかに活写したほか、見ることもタブーであった祭祀を含む沖縄の精神文化を真摯な眼差しでカメラに収めた。作品の多くは生前に発表されることはなかったが、遺族の元に残されていたフィルムを託され、支援者が写真集『太古の系譜 沖縄宮古島の祭祀』(六花出版)を刊行、2018年からは写真家や映像関係者を中心とした有志団体「まぶいぐみ」実行委員会が、宮古島をはじめとする県内各島で比嘉康雄との二人展を開催、知られざる活動の再評価が進んでいる。

●比嘉康雄(ひが やすお 1938-2000)

本土復帰前の沖縄に育ち、地元の警察官勤務を経て写真家に転身、戦後沖縄を基点に近代の人間の姿を見つめ、琉球のアイデンティティを探り当てようとする作品を数多く発表した。1974 年に民俗学者・谷川健一に同行して宮古島の秘祭であるウヤガンを撮影したことをきっかけに、琉球弧の各島々に伝わる民俗儀礼を長期にわたって取材・調査する。民俗学・文化人類学の面での研究成果も含め、今では途絶えてしまったものも多い沖縄の信仰の世界を、儀式を担う神女の信頼を得てつぶさに記録した業績は高く評価されている。太陽賞、日本写真協会年度賞、沖縄タイムス芸術選賞大賞など、受賞歴多数。主な刊行物に『神々の古層』(ニライ社)、『日本人の魂の原郷 沖縄久高島』(集英社)がある。

展覧会名: よみがえる宮古島の祭祀 写真家、上井幸子と比嘉康雄が写した記憶 Memories of Ritual Prayer on Miyako Island:

The Photographs of Uwai Sachiko and Higa Yasuo

主催:「琉球からの声を聴く」実行委員会(代表:藤田ラウンド幸世)、ICU 湯浅八郎記念館

共催:まぶいぐみ実行委員会

後援: (一社) 宮古島市文化協会、公益財団法人沖縄県文化振興会、沖縄県、JICUF

会場:湯浅八郎記念館2階 特別展示室

会期:2020年4月14日(火)~7月3日(金)

開館時間:火~金曜日 10:00~17:00/土曜日 10:00~16:30

休館日:日曜、月曜、祝日

入館料:無料

展示資料: 1972 年から 1992 年に沖縄宮古島を撮影した白黒写真 180 点

(内訳 上井幸子撮影作品 91点、比嘉康雄撮影作品 89点)

交通: JR 中央線三鷹駅および武蔵境駅より小田急バス「国際基督教大学行」終点下車

または武蔵境駅南口よりタクシー10分

関連イベント:公開講座「宮古島の精神文化に生きる祭祀とことば:

上井幸子と比嘉康雄の写真をメディアリテラシーで読み解く」

2020年6月6日(土) 14:00~15:30

会場:当館エントランスホール 聴講無料・要予約

講師:藤田ラウンド幸世(国際基督教大学客員准教授/社会言語学・異文化コミュニケーション)

お問い合わせ等は以下までお願いいたします。

国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館(担当 具嶋恵 ぐしまめぐみ)

〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL:0422-33-3340 FAX:0422-33-3485 E-mail:gmegumi@icu.ac.jp

*新型コロナウィルス感染予防・拡大防止のため、会期などを変更する可能性があります。 最新の情報はお問い合わせいただけましたら幸いです。



●上井幸子 「伊良部島 佐良浜 ユークイ」 1979 年 インクジェットプリント *ユークイ (世乞い):豊作・健康祈願



●比嘉康雄「宮古島 狩俣 ウヤガン」1974 年 インクジェットプリント *ウヤガン:祖神祭